

欄に記入してください

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社ウッドワン本社工場

(2) 事業所の所在地

広島県廿日市市木材港南1-1

(3) 業種

1331 建具製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、2018年度を基準年とし2022年度から2026年度までの5年間とする

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（％）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成30年度 (2018)	令和8年度 (2026)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)
エネルギー 起源CO ₂	4,637	4,590 1.0	3,487 24.8	3,306 28.7			
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	4,637	4,590 1.0	3,487 24.8	3,306 28.7			
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	エコメニューの変更以外に変圧器等の更新により電力使用量の削減ができた。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産金額(千万円)

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成30年度 (2018)	令和8年度 (2026)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)
エネルギー 起源CO ₂	2.22	2.08 6.3	1.660 25.2	1.624 26.9			
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)	1.27	2.08 -63.8	1.497 -17.9	1.013 20.2			
実績に対する 自己評価	関西電力のメニュー変更の影響によりCO ₂ 排出量が大幅に削減となった。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	電気使用量の削減 2022年度 B M1. 71	2026年度 電気使用量 11, 430 K W h 生産金額 2, 202 (千円)	・ エアークンプレッサーのロス削減 ・ 設備総合効率 U P による生産性の向上 ・ 新規生産設備は省エネタイプを導入 ・ U V 乾燥機の空転時出力調整
2			
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1	購入電力を関西電力の再エネ E C O に変更	
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。